

小児神経学の進歩

第13集

日本小児神経学会卒後教育委員会・編

株式会社
診断と治療社

= 目 次 =

痙攣—臨床からの対応—	岡 鎌 次	1
I 急性痙攣		1
II 慢性反復性痙攣		3
痙攣—基礎からのコメント—	森 昭胤	13
I 神経伝達の生化学概説		13
II 痙攣への生化学アプローチ		16
NMR-CT	古瀬 和 寛	26
I NMR 法による情報の検出		26
II 形態情報検出手段としての NMR 法		27
III 緩和時間の測定と臨床医学上の意義		28
IV デュアルモード NMR スキャンニングシステムによる経験から		30
V 今後の展開の上での問題点		35
小児の慢性頭痛	加藤 昌弘	38
I 頭痛の診断		38
II 頭痛の分類		40
代謝異常—臨床の立場から—	一色 玄	50
I 臨床像によるスクリーニング		50
II 体液の生化学検査によるスクリーニング		56
代謝異常—病理の立場から—	田中順一	61
I 表現型としての脳病変		61
II 細胞小器管の形態異常		62
III 病変の局在による分類		64
IV 代表疾患の病理像		65
染色体研究の進歩	梶井 正	83
I 染色体異常の排除機構		84
II 出生後の染色体異常		85
III 染色体異常発生のメカニズム		87
IV 構造異常		91
V 高精度分染法 (High resolution banding)		96

VI 臨床像と染色体所見の対応 (Phenotype-Karyotype correlation)	96
= Clinical Pathological Conference (C. P. C.) I =	
肝脾腫、粗な顔付き、そけい部ヘルニアを伴った著しい 精神運動発育遅延児の症例.....	[司会] 岡田伸太郎...98
	[症例担当] 杉野 礼俊
	豊 徹
	[病理担当] 太田 茂
	[指定発言] 松田 明
= Clinical Pathological Conference (C. P. C.) II =	
眼振を主訴として受診し、月齢の経過とともに 不随意運動の出現した症例	[司会] 竹下 研三...115
	[症例担当] 田中 朋子
	[病理担当] 水戸 敬
末梢神経機能検査と考え方—電気生理学的検査の実際—	満留昭久...133
I ニューロパチーの分類	133
II 筋電図 electromyography	134
III 神経伝導速度 nerve conduction velocity	136
IV F波	142
V 顔面神経伝導時間および眼輪筋反射	143
VI 小児ニューロパチーにおける電気生理学的検査の意義	145
学童期の精神障害	村田 豊久...149
I 小児期・思春期の精神疾患の診断と分類	149
II 病態の諸相—特に学童期にみられる特徴について	151
モヤモヤ病の外科治療	菊池晴彦...161
I 原因	161
II 臨床症状	161
III 診断と病態	162
IV 治療	164